ICOM 設定ガイド

WIRELESS ACCESS POINT

AP-550

PoE受電

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、ブロードバンド回線に対応した54Mbps無線ホットスポット用のワイヤレスアクセスポイントです。
本書では、本製品の基本的な接続や設定、初期化方法などについて説明しています。

■本製品の設定画面にアクセスするには

1 本製品の設定に使用するパソコンに、固定IPアドレス(例：192.168.0.10)を設定します。

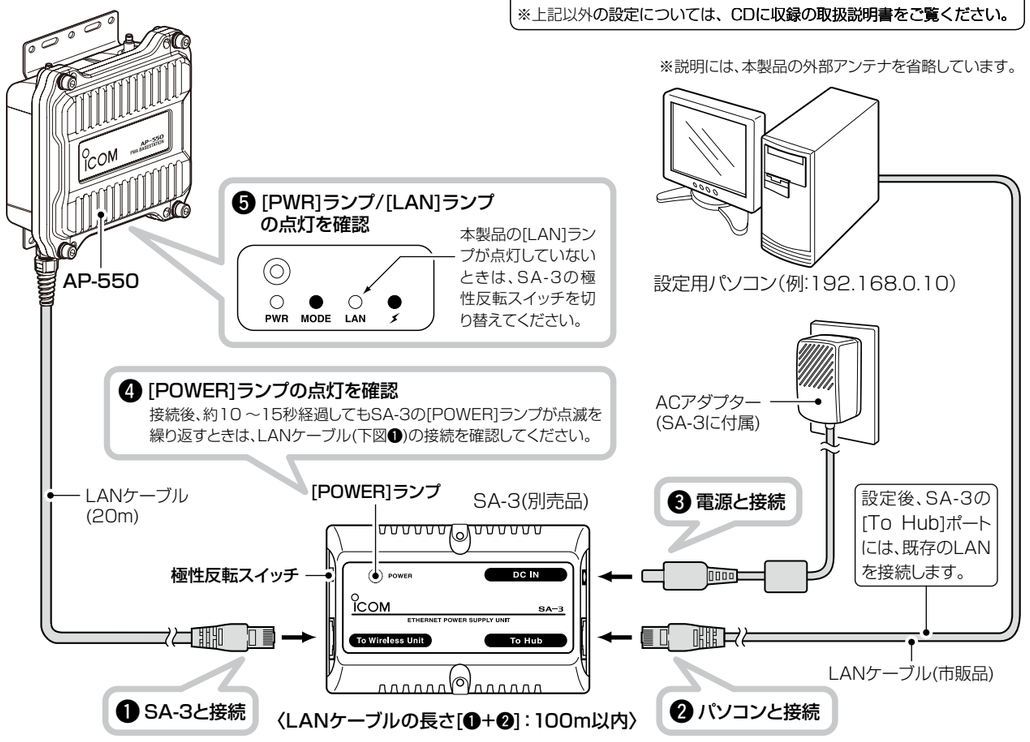
【本製品の出荷時、または全設定初期化時の設定値】

IPアドレス	：192.168.0.1		
DHCPクライアント機能	：OFF	管理者ID	：admin
DHCPサーバ機能	：OFF	管理者パスワード	：(空白)

※上記以外の設定については、CDに収録の取扱説明書をご覧ください。

2 設定用のパソコンと本製品を次の手順で接続します。

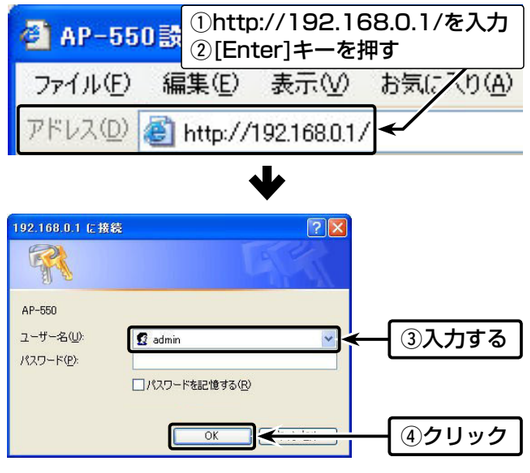
※説明には、本製品の外部アンテナを省略しています。



3 **本製品に接続されたパソコンのWWWブラウザから、次の手順で設定画面にアクセスします。**

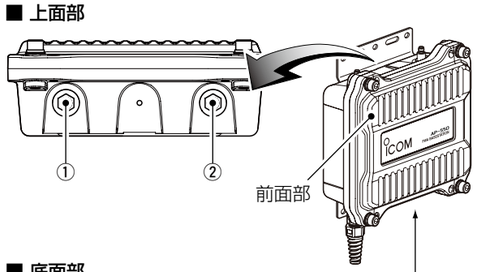
①WWWブラウザを起動します。
②本製品のIPアドレス(出荷時の設定：192.168.0.1)をWWWブラウザのアドレスバーに入力し、[Enter]キーを押します。
③「admin」を[ユーザー名(U):]欄に入力し、[パスワード(P):]欄には何も入力しない(出荷時の設定)で、〈OK〉をクリックします。
●「ネットワーク設定」メニューの「LAN側IP」画面を最初に表示します。

【WWWブラウザについて】
ご使用になるWWWブラウザは、Microsoft Internet Explorer6.0以降をご用意ください。
本書では、Internet Explorer6.0を使用して説明しています。

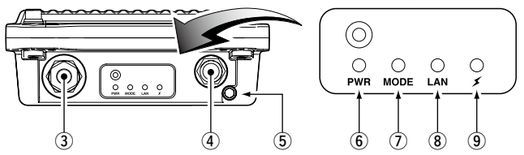


■各部の名称と機能[AP-550本体]

■ 上面部



■ 底面部



① **アンテナコネクター(避雷器内蔵)：アンテナA**
外部アンテナ(弊社別売品)を接続します。
※アンテナAに接続しない場合は、アンテナコネクターキャップ(付属品)を取り付けます。

② **アンテナコネクター(避雷器内蔵)：アンテナB**
外部アンテナ(弊社別売品)を接続します。
※アンテナBに接続しない場合は、アンテナコネクターキャップ(付属品)を取り付けます。

③ **LANケーブル**
SA-3(別売品)、または[IEEE802.3af]対応のHUBなどと接続します。

④ **[CONSOLE]ポート**
ターミナルソフトを本製品の設定に使用するとき、設定用ケーブル(別売品)を接続します。

⑤ **アース端子**
本製品のケース(筐体)を接地するとき、アース線(付属品)を接続します。
※接続方法は、設置工事説明書(別紙)をご覧ください。

⑥ **[PWR]ランプ**
点灯：本製品の電源が入っているとき

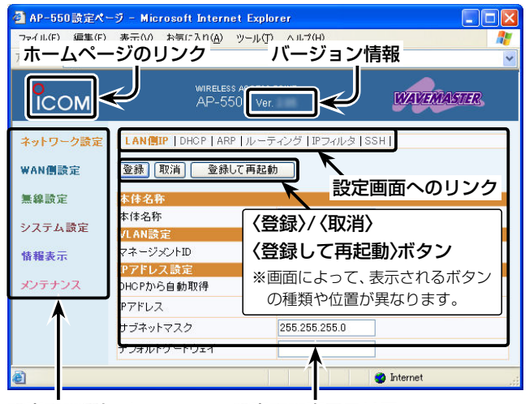
⑦ **[MODE]ランプ**
消灯：通常の運用では使用しません。

⑧ **[LAN]ランプ**
点灯：LANケーブルの接続が正常なとき
点滅：データを送受信しているとき

⑨ **[↯]ランプ**
点灯：本製品と無線通信を確立したとき
消灯：通信相手が存在しない、または4～5分間以上、無線通信しない状態がつづいたとき

■設定画面の名称と機能

各設定項目の説明は、CD収録の「取扱説明書」をご覧ください。



ホームページのリンク
インターネットに接続できる環境で、アイコムのホームページにアクセスするためのリンクです。

バージョン情報
本製品のファームウェアバージョンを表示します。

設定画面選択メニュー
メニュー名をクリックすると、そのメニューに含まれる画面名を[設定画面へのリンク]の部分に表示します。

設定画面へのリンク
クリックした名前の画面を[設定画面表示エリア]に表示します。

設定画面表示エリア
[設定画面へのリンク]でクリックした名前の画面を表示します。

〈登録〉/〈取消〉/〈登録して再起動〉ボタン
設定した内容の登録や取り消しをします。
本製品を再起動するまで有効にならない項目は、すべて設定したあとに、〈登録して再起動〉ボタンをクリックします。
※再起動中は、下記の画面を表示します。

本体を再起動しています。
本体の起動を確認後、[Back]をクリックしてください。

再起動が完了(約30秒)するまで、[Back]と表示された文字の上にカーソルを移動してクリックしても、設定画面に戻りません。

■ おもな搭載機能について

無線LAN機能
- [IEEE802.11b/g]無線LAN
- 暗号化セキュリティー
  WEP RC4、OCB AES、TKIP、AES
- ネットワーク認証
  オープンシステム、共有キー、IEEE802.1X、WPA、WPA2、WAP-PSK、WAP2-PSK
- サイトサーベイ機能
- 無線AP間通信機能
- パワーレベル調整機能
- 11g保護機能
- 接続端末制限機能
- 無線端末間通信禁止機能
- 仮想AP機能
- Super G機能
- XR機能
- ANY端末接続拒否機能
- MACアドレスフィルタリング
- WMM*(Wi-Fi Multimedia)

★2008年2月現在、本製品は、Wi-FiのWMM認証を取得していません。

ネットワーク管理機能
- SYSLOG
- SNMP

その他
- DHCPサーバ機能
- DHCPクライアント機能
- DHCPリレー機能
- TELNET/HTTP/HTTPS
- 内部時計設定
- 接続制限機能
  (管理者パスワード/管理者IP)
- WWWメンテナンス
- ファームウェア更新
- TELNETメンテナンス
- SSH認証
- CONSOLEメンテナンス
- PoE機能
  (IEEE802.3af規格準拠)

■アンテナコネクターの設定方法

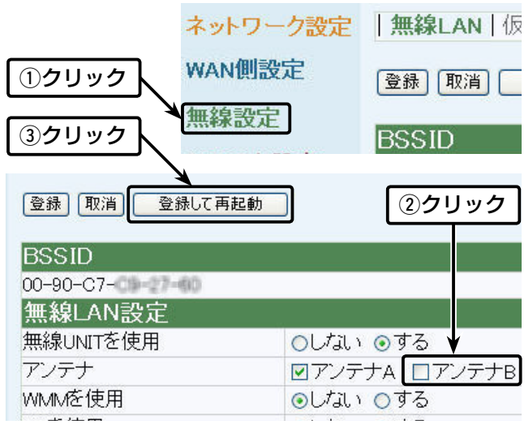
使用するアンテナコネクターを設定します。

(出荷時の設定：☑アンテナA　☑アンテナB)

片側のアンテナコネクターだけを使用する場合は、下記の手順で使用しないアンテナコネクター側のチェックボックスをクリックして、チェックマークをはずしてください。

〈設定のしかた〉

① 本製品の設定画面にアクセスして、「無線設定」メニューをクリックします。
　●「無線LAN」画面を表示します。
② [無線LAN設定]項目の[アンテナ]欄から、使用しないアンテナコネクター(例：アンテナB)のチェックボックスをクリックして、チェックマークをはずします。
③〈登録して再起動〉をクリックします。
　●設定が有効になります。
　※ほかの機能も併せて設定するときは、〈登録〉をクリックします。
④ 再起動完了(約30秒)後、[Back]と表示された文字の上にカーソルを移動してクリックすると、設定画面に戻ります。
　※設定画面に戻らないときは、再起動中ですので、しばらくしてから再度クリックしてください。



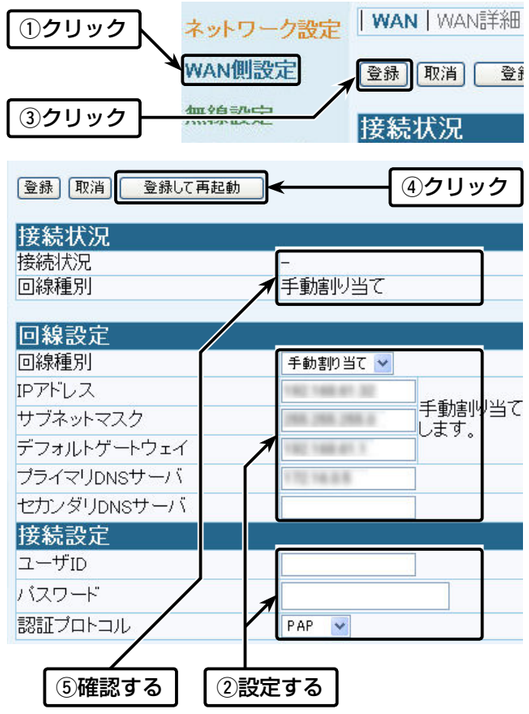
■無線LANを異なる構成で使用するには

下記の手順でWAN側IPアドレスを設定すると、WAN側(有線LAN)と無線LANが異なるネットワークで構成できます。

※出荷時の設定では、有線LANと無線LANが同一ネットワークで構成されています。

〈設定のしかた〉

① 本製品の設定画面にアクセスして、「WAN側設定」メニューをクリックします。
　●「WAN」画面を表示します。
② [回線設定]項目と[接続設定]項目を設定します。
　※ご契約の回線接続業者、またはプロバイダーから指定がある場合は、その内容を設定してください。
③〈登録〉をクリックします。
　※IPアドレスのネットワーク部が「LAN側IP」画面と異なる設定になっていることを確認してください。
④〈登録して再起動〉をクリックします。
　●設定が有効になります。
　※ほかの機能も併せて設定するときは、〈登録〉をクリックします。
　※「LAN側IP」画面のIPアドレスとネットワーク部が同じ状態で〈登録して再起動〉操作で設定を有効にすると、設定画面にアクセスできなくなりますので、ご注意ください。
　この場合、設定を工場出荷時の状態に戻すことになります。
⑤ 再起動完了(約30秒)後は、本製品のLANケーブルをご使用になるネットワークに接続しなおしてください。
　※WAN側を設定すると、上記の[IPアドレス設定]項目が無線LAN側の設定になり、WAN側(有線LAN)と無線LAN間は、ルーティングされます。
　※WAN側設定後、有線LAN側から設定を変更するときは、[Back]と表示された文字の上にカーソルを移動してクリックしても、設定画面に戻りませんので、本製品の設定画面にアクセスしなおしてください。
⑥ 有線LANから設定画面にアクセスするときは、手順②で設定したIPアドレスを指定してください。
　※無線LAN側のネットワークは、「ネットワーク設定」メニューから詳細な設定をしてください。

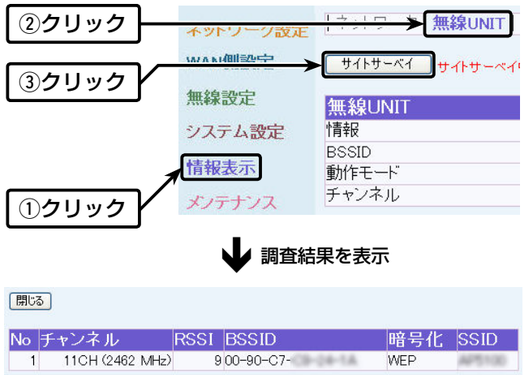


■サイトサーベイ機能について

本製品の設置場所周辺における通信環境を調査できます。

〈操作のしかた〉

① 本製品の設定画面にアクセスして、「情報表示」メニュー→「無線UNIT」の順にクリックします。
　●「無線UNIT」画面を表示します。
② 〈サイトサーベイ〉をクリックします。
　●本製品の無線伝送エリア内で稼働する無線LAN機器の情報を一覧で表示します。
　※検索結果が表示される(約30秒間)までは、無線LAN端末と通信できません。
　※サイトサーベイの詳細や調査例については、本製品に付属のCDに収録された取扱説明書をご覧ください。



■全設定の初期化について

全設定を工場出荷時の状態に戻すときは、WWWブラウザから本製品の設定画面にアクセスするか、Telnetでアクセスして全設定を初期化してください。

※本製品に設定されたIPアドレスが不明な場合は、本製品の[CONSOLE]ポートに接続されたパソコンからターミナルソフトウェアでアクセスしてください。

■リセット(再起動)について

本製品の電源を入れなおしできない環境で再起動が必要な場合は、Telnet、またはターミナルソフトウェアから、restartコマンドを使用して再起動してください。

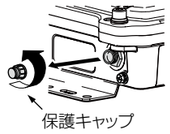
※故障の原因になりますので、LANケーブルの抜き差しによる再起動はしないでください。
　電源を入れなおすときは、[IEEE802.3af]対応のHUB、またはSA-3(別売品)に接続された電源を抜き差ししてください。

■ターミナルソフトウェアで設定するには

本製品のIPアドレスが不明な場合など、ターミナルソフトウェアを使用して接続する手順について説明します。

※本製品との接続には、設定用ケーブル(別売品)をご用意ください。

① 本製品の電源供給に使用しているSA-3(別売品)、または[IEEE802.3af]対応のHUBから電源をはずします。
② [CONSOLE]ポートの保護キャップ(右図)をはずします。
③ 本製品の[CONSOLE]ポートとパソコンの[COM]ポートを設定用ケーブルで接続します。
④ 本製品に電源を供給し、パソコンからターミナルソフトウェアを起動します。
⑤ 下記を設定して、[ENTER]キーを押します。
　[接続方法(N)]　：設定用ケーブルが接続された[COM]ポートの番号を指定
　[ビット/秒(B)]　：115200(ビット/秒)
　[データビット(D)]　：8
　[パリティ(P)]　：なし
　[ストップビット(S)]　：1
　[フロー制御(F)]　：なし
⑥ 下記を入力して[ENTER]キーを押すと、ログインできます。
　login　：admin
　password：空白(何も入力しない)
　※出荷時や全設定初期化時は、本製品のpasswordを設定していません。
⑦ AP-550 #と表示されたことを確認します。
　※アクセス後に[Tab]キーを押すと、本製品で使用できるコマンドの一覧が表示されます。
　コマンド名の入力につづいて[Tab]キーを押すと、サブコマンドの一覧を表示します。



■Telnetで設定するには

Telnetで接続する手順について説明します。

※Windows XP/Windows 2000を例に説明しています。
※Windows Vistaをご使用の場合は、「コントロールパネル」→「プログラム」→「Windows の機能の有効化または無効化」から、[Telnetクライアント]を有効にすると、下記の手順で使用できます。

① Windowsを起動します。
② [スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。
　名前欄に「Telnet.exe」と入力し、<OK>をクリックします。
　※Windows Vistaをご使用の場合は、タスクバーを右クリックすると表示される[プロパティ]→[[スタート]メニュー]タブ→〈カスタマイズ(C)...〉ボタンから[ファイル名を指定して実行]を表示できます。
③ Telnetクライアントが起動しますので、下記のように指定します。　(出荷時のIPアドレス：192.168.0.1)
　Microsoft Telnet>open 本製品のIPアドレス
④ 下記を入力して[ENTER]キーを押すと、ログインできます。
　login　：admin
　password：空白(何も入力しない)
　※出荷時や全設定初期化時は、本製品のpasswordを設定していません。
　※passwordは、本製品のWWWブラウザ設定画面にある「システム設定」メニューで設定された内容と同じです。
⑤ ログインメッセージ(AP-550 #)が表示されます。
　※アクセス後に[Tab]キーを押すと、本製品で使用できるコマンドの一覧が表示されます。
　コマンド名の入力につづいて[Tab]キーを押すと、サブコマンドの一覧を表示します。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

高品質がテーマです。

A-6650W-2J Printed in Japan

© 2008 Icom Inc.